

「竹林の整備および竹材の利用推進について」

コース・専攻：生活環境コース

グループ名:すずめのお宿

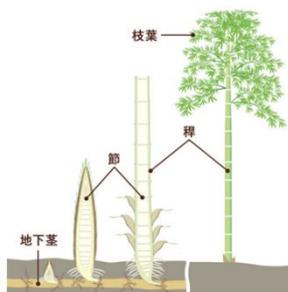
メンバー:加藤尚子、助平和恵、中塚咲子、中村雅子

[研究目的]

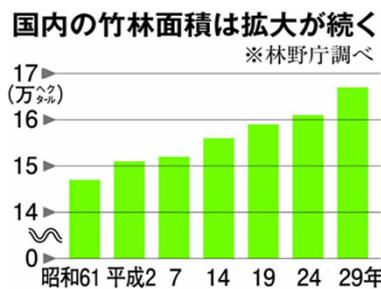
竹林は昨今里山の荒廃の中でも整備が非常に困難であり、邪魔者扱いされています。また、生物多様性にも影響が多大であるといわれています。竹林整備および竹材利用について、現状の課題と将来について、さらには私たちに何ができるかを地元志向で研究したいと考えました。

[調査のプロセスとフィールド活動内容]

1. タケの種類と性質



2. 竹林の現状



放置竹林と竹害について



3. 竹害から地域資源へ



4. 私たちの市民活動体験記



[課題の解決に向けて]

(1) もう一度竹材利用を見直そう

- ・ 目先の安価に惑わされず、プラスチックに負けない竹の良さを知って、生活に取り入れよう
- ・ たけのこを食べよう

(2) 竹林も含めた里山(都市山)を次世代へ継承しよう

- ・ 里山のいいところを知ろう・親しもう・伝えよう
- ・ 里山を継承していくために、持続可能なボランティアの輪を広げよう
- ・ ・ ・産官学連携、楽しく参加、世代を超えた活動など

